

5月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		5,600	100	6,503	236	96	229	-	-	熊本産中心の入荷で全体の8割を占める。生育の遅れが解消し生育は順調、品質的にも良好。小玉すいかは茨城、群馬産とも3月から入荷しているが、作況は良好。全体の入荷量は前年並み、価格は前年よりやや下回る見込み。
おうとう		242	120	201	2,048	96	2,589	49	20.2	山形、米国产中心の入荷となる。大雪によるハウス被覆の遅れや震災に伴う燃料不足等による加温調整によって、生育は10日ほどの遅れが見られる。連休明けから出荷ピークに入り、下旬から6月上旬は前年を上回る見込み。露地の早生品種も6月にずれ込む見込み。販売環境は厳しさが続きが、母の日等の需要を期待したい。
びわ		206	100	220	1,244	90	1,336	-	-	長崎、千葉産中心の入荷で全体の9割を占める。長崎産の露地物は前年よりやや遅れて中旬からの入荷となる。千葉産の入荷ペースは全般に遅れているが、前年よりは入荷増の見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
マンゴー		155	115	137	2,225	93	2,561	-	-	宮崎産中心の入荷で全体の6割を占める。生育は5日ほどの遅れはあるが、品質的には良好。人気商材ではあるが、販売環境が厳しくなっている。全般の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。